

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市学校歴史博物館の運営について

当館は、平成10年に日本で最初に64の学区制小学校を創設した京都の教育の歴史と、学校の創設・経営に尽くされた町衆の情熱を学校文化財や歴史資料によって明らかにし、後世に伝えることを目的として開設し、市民の生涯学習や子どもたちの学習活動に取り組んでおり、年間約1万人の方々にご来館いただいています。

施設の主な取組（概要）

- 学校に関わる歴史資料や学校に寄贈された美術品等の収集、保存・整理等
学校（主に統廃合による閉校施設）及び民間における学校に関わる歴史資料や学校へ寄贈された美術品等の収集し、保存・整理や研究・調査、資料の展示を行っています。
- 常設展示・企画展示
学校に関わる歴史資料や学校へ寄贈された美術品等を常設展示するとともに、テーマを設けて企画展を開催しています。
- 参加、体験事業の展開
観る博物館から参加・体験する博物館として、講演会、講座・体験教室など、展示内容や収蔵資料等に関わりのある事業・イベントを開催しています。
- 情報発信
ホームページによる企画展等に関する情報の発信や、広報動画の配信（美術工芸品編、歴史資料編）、案内パンフレットの作成、博物館年報、研究紀要の発行、各種グッズ、書籍の発行等を行っています。



施設運営に関する支出・収入（概数）

入館者1人当たりに換算すると、上記の取組などによる年間の支出は2,850円（総額19.3百万円）、入館料などの収入は240円（総額1.6百万円）です。この他、施設を利用しない方も含めた、市民の皆様からの税金を活用し、運営しています。

<支出：2,850円（総額1,930万円）>

職員人件費 2,390円	事業費 460円
--------------	----------

<収入：240円（総額160万円）>

